

整理番号	15-4	事務事業名	住民集会所整備事業		作成部署	市民環境部 市民生活課		電話	内線716
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	滝本 明	課長職名	武田 隆	作成日	平成17年6月	
事務事業開始年度	S47	根拠法令等	北広島市住民集会所整備要綱・北広島市住民集会所貸付規則						
〃 終了予定年度									
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	地域住民の集会所等の用に供するため、住民集会所を建設する。								

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	いきいきとした交流と連携のまち (第3章)	
	節	コミュニティ (第1節)	
	施策	住民集会所整備 (第3施策)	
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	住民集会所・地域住民	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	住民集会所を整備することにより、地域住民の自治振興を図る。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	平成15年度:北の里会館補修工事 平成16年度:北広島団地第2住区集会所トイレ改修工事 共栄第2公住集会所玄関改修工事
		17年度	大曲北鈴会館補修工事

2 実施(ドゥ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財	1,764	1,804	2,108	3,675
	一般財源				
	合計	1,764	1,804	2,108	3,675
人件費(概算)	人数(年間)	0.50	0.50	0.50	0.50
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	4,500	4,500	4,500	4,500
総事業費 +		6,264	6,304	6,608	8,175

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	(当該年度)				
	増改築・補修工事着手集会所数	1	0	1	1
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	(昭和59年度以降)				
	増改築・補修工事実施済集会所数	24	24	25	26
	集会所総数	39	39	39	39
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	年度ごとの着手率	2.56%	0.00%	2.56%	2.56%
	(当該年度着手数/集会所総数)				
	増改築・補修工事実施済率	61.54%	61.54%	64.10%	66.67%
	(実施済数/集会所総数)				

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	市内各地域では、より身近な施設として住民集会所を多目的に利用したいというニーズが高まっている。また、高齢者や障害者が利用しやすい施設であることも望まれている。
---------------------------------	---

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありますか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	整備要綱にもとづき建設した住民集会所(普通財産)を貸付規則により自治会等の団体が占有できるようにしている。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	最近、単なる集会施設にとどまらず多様に使用されている。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	建設年度・世帯数・利用実態・老朽の度合いを勘案し、計画的に整備を進めている。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	現行の要綱・規則においては、整備については市が負担し、維持管理費用については貸付を受ける自治会等の団体が負担することになっている。	

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	整備された住民集会所は自治会活動の拠点となっている。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	年度ごとの着手率が低く、すべての増改築・補修工事が完了するまで、あと10年以上かかってしまう。	着手率を上げれば事業の進捗状況は改善されるだろうが、市の財政事情も考慮しないといけない。整備費用の予算措置にあたっては、基本的な考え方を整理しておく必要がある。

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	事業開始当時と比べて、地区住民センターや公民館といった同様の集会施設の整備は進んでいるが、地区の住民にとっての身近な施設として、小規模な住民集会所の利用ニーズは依然として高く、計画的に改築・補修を行っていく。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおり